

**新しい公共文化施設
「リニューアル ギャラクシティ」の
管理運営について
～その発展と維持継続を期待します～**

平成 22 年 3 月

足立区政を見守る会

はじめに

「足立区の公共施設の課題とその効果的活用に対する提言書」（公共文化施設を軸とした地域活性化）と題し、公共施設管理運営に携わる区行政関係者に平成 20 年 11 月付けにて提言書を提出し、当会の意図するところを心よくご検討頂きました。

行政担当の方々もギャラクシティの迅速な改善運営を進められ、21 年度末にはその姿が私共にも見えて参りました。時代の変化、そして多様化するニーズを考慮された新たな発想のもと、子どもの夢あふれる体験型施設として、足立区のシンボリックな設備運営が考案されているように思われます。

また私どもの提案後、改修経過のご報告や意見交換の場を設けて下さり、区民として嬉しく思います。

3 月 7 日（日）ギャラクシティのリニューアルを先とりして、「あ・たち フェスタ 2010」が開催されました。真冬のような雨天にも関わらず大勢の子供や親子連れが来館し、意欲をかきたてられ、物作りに熱中したりプラネタリウムに見入ったりしておりました。このイベントの成功は、今回の改善案が区民ニーズと合致したものであり、関係者が総力を上げた幅広い努力の結果と思われます。

設備がリニューアルされ、本格的な稼動に入った後は、管理運営の方法が非常に重要になります。当会はその運営に関し、再度、提言をいたします。本提言が多少なりとも今後の発展に寄与できれば幸いです。

平成 22 年 3 月 31 日

足立区政を見守る会

代表 中田 裕康

管理運営について

子ども科学館は、「子どもの遊び・体験・参画」を通し、学ぶ力を身につけ、子どもの可能性を伸ばす学びを支える遊び施設としてリニューアルされます。ハード面はすでに決定し、着々と実施に移されているのでこの運用がスムーズであるよう、改修後の管理運営について、今回は問題を提起し、以下の提案を致します。

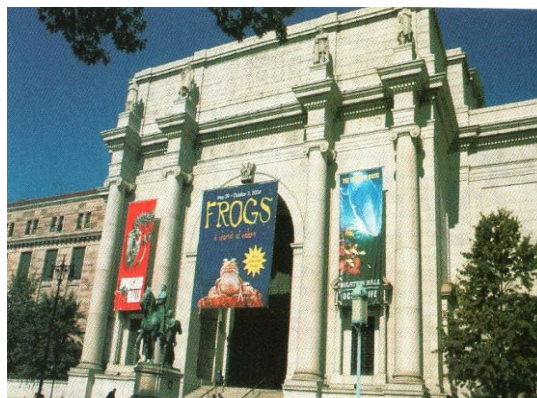
1. Newギャラクシティの存在を知らせる

① 建物の表示を見える位置に

現在建物壁に書かれている『ギャラクシティ 子ども科学館・文化ホール』の表示は非常に見づらい位置に書かれている。プラネタリウム外装の銀色に輝く円柱形の部分に館の名前を表示すれば、通行中の人だけでなく環七陸橋・電車内からも見やすくなる。それは人目を引くオブジェにもなる。それがLEDの電光掲示板であればさらに効果がある。子どもの遊び場では何が出来るのか、プラネタリウムの時間・料金などもテロップで流せば、人目を引く。照明で照らせる大型の懸垂幕も効果がある。駅から近いかともわかって、一度行ってみようと思わせる効果は大きい。



(外観も目立たず表示の少ない現状)



(一例 企画の内容を懸垂幕で知らせる)

(プラネタリウムやクライミングウォールの案内などでもよい。)

② 人目を引く案内板を置く

現在の西新井東口案内板は、目立たないので置き場所、デザインを再検討し、目立つものを見て楽しい雰囲気のものに変える。西新井改札口、東口バス停、ARIO、北千住駅などにも広告看板を出す。



(改良の余地のある案内板)



(入口が暗く、楽しい雰囲気が乏しい)

③ 建物の外装、内装の色を替え、入口を入りやすいものに変える

建物に入った瞬間、ウキウキしてくる色彩がポイントに思う。部屋ごとに明るく温かみのある異なった色とし、楽しさのイメージが部屋毎で変わる空間にする。

外装は入ってみたいくなるパステルカラーにし、入り口も明るく、子供の城をイメージできるデザインが良い。

ハウスシックにならぬよう、塗料の種類にも注意して欲しい。

④ 広報

区内13か所の地域学習センターでは毎月ミニコミ誌を発行している。従来の広報に加えここに協力してもらい、PRする。

2. 集客のためのしくみを考える

① ギャラクシティにサービス機能をもたせる

図書の予約と受け渡しといったパソコン一台で出来る図書館取り次ぎサービスを受付が担当する。コピー機や新聞なども置くなどして、人の出入りを一層多くする仕組みをつくる。

② ギャラクシテリニューアルのポスター制作

このポスターを区の施設や学校、駅張り、スーパー、町会看板などに表示する。

③ ARIO、西口東口商店街との連携を図り「双方向に人の流れる街おこし」のしくみを考える。

区民部、産業経済部とも協働し、改修期間中に商店街と活性化について話し合いを持ち、周辺と協力できる施設にする。

西新井駅からギャラクシティまでの電柱等に小旗を立てて誘導する。

④ 「小児健康カウンセリング、子育てアドバイザー」室設置

「青山のこどもの城」にある「子供クリニック」の医事行為を除外した「子育て健康相談所」をつくり、子供が遊んでいる間に親がアドバイスを受けられるようなしくみを作る。年寄りの知恵が期待できない若い核家族のママの為の場所とする。専門家とボランティアを配置する。

⑤ え？こんなところに・・・

隣の栗原 1 丁目アパートには、隠れオブジェがたくさんあり、それを探し当てるのが遊びとなっている。外壁 5F に長靴が付いていたり、10F にはマンボウ、中庭にはフクロウ・蜂の巣・蝸牛の行列・小鳥の巣、アルマジロの石の置物は盗まれてしまったほどの人気である。この探し当ての続きをギャラクシティに作っても楽しいと思う。ディズニーランドのようにギャラクシティのキャラクターを作り、隠れキャラクターを内外装あちこちに描いておいて、探し当てるのも面白いと思う。

3. 運営について

① プラネタリウムの名称

プラネタリウムは、専門性が要求され、そのメンテナンス・ランニングコストに多額の経費を必要とする。そこでプラネタリウムの冠企業を探して命名し、費用の軽減を図ったらどうか？

(例 コニカミノルタプラネタリウム ベネッセサタードーム)

(添付資料参照)

② プラネタリウムの運営

プラネタリウム本来の機能で集客をする努力は当然として、これを多機能に利用し、空き時間を利用したコンサート、音楽発表会、企業のプレゼン、新製品の発表の場としても利用する。

③ プラネタリウムの客層を広げる

最近「夜空の星空コンサート」などを開催し対象を広げつつあるが、小中学生向けの学習投影がメインで子供ターゲットだった。その結果、休日も子供づれの客層で空席があまりにも多かった。都内最大規模の客席と駅から近いという利を生かして客層を大人にも広げていく。前述のLEDの電光掲示板で下記のような宣伝コピーを流したら、暗い中に流れる光はプラネタリウムの星をイメージさせ宣伝効果は絶大！

<その月によって客層のターゲットを絞る>

☆.クリスマス・バレンタイン・ホワイトデーは恋人週間（恋人・夫婦）

- * **あなたの大事な人と 夜空を眺めてみませんか？**
- * **二人の星を探し当てたら そっとチョコレートを・・・**

☆.一人を対象に「OL・サラリーマン・主婦・年配者・時間のある人」

- * **子どものとき見たあの星が ずっとあなたを待ち続けています**
- * **たまにはひとりで 星と話そうよ**
- * **ふらっと 立ち寄ってみてください**
癒しの空間が ここにあります
- * **お仕事お疲れさま**
星を眺めてちょっと息抜きもいいですよ！（平日夜営業）

☆.9月は熟年、お年寄り（老人施設・老人会・年配者）

- * **星はあなたより何億倍もお年寄りです**
そんな先輩が貴方を癒します
- * **見ている星はあなたが生まれるよりずっと昔に生まれました**
あなたのご先祖からのメッセージに耳を傾けてください

☆.15夜のイベント

- * **15夜・すすき・お団子・お月さま**
子どもの頃を思い出しませんか？
(郷土博物館とコラボレーション)

☆.5月・夏休みは子どもを対象に（子ども 家族）

- * **星 いくつまで数えられるかな？**
数えただけ いっぱいパワーをもらっちゃおう！

誰もが一人でも気楽に立ち寄れるプラネタリウムとし、
多くの観客で埋め尽くしたい！！

④ 運営委員会

リニューアル後も運営委員会は発展的に存続させ、現在の運営委員を再検討し、一般公募や熱心な協力団体、学生ボランティアなどからも委員を加える。任期を決めてマンネリにならない仕組みにする。今までと違った観点や斬新なアイデアを引き出すことも必要である。従来の町会長、PTA会長、校長という肩書だけでなく、情熱のあるやる気のある委員が集まった委員会とする。“開かれた行政、新しい公の施設、区民のための施設”このキーワードを念頭に置いてもらいたい。その場合には当会としても協力をしたい。

⑤.子ども科学館の館長を公募する

子ども科学館専門の館長を公募する。専門能力と創造力を持ち、熱意と工夫改善に前向きな、サービス精神旺盛な人がいい。

⑥. 区民賛助員「ギャラクシティ友の会会員」を募集する

寄付を募り施設が自分たちのものでもあるという参画意識を持たせる。賛助会員には特典を与え、会員名を会館内に表示する。

⑦. 安全性に対する配慮と救急室の設置

遊具使用のためのインストラクターの配置や、警備入場制限などのマニュアルを作る。気分が悪くなった場合はベッドで休息し、応急処置ができる救急室を設置する。

4. ボランティアについて

定年後の人材や子育て終了後の婦人の取り込みに加え、学生ボランティアの活用を考える。特に学生ボランティアの場合は何らかのインセンティブを与える。千住地区に新たに居をかまえる学生の為に都営住宅や、民間下宿の割安な提供、教育実習としての修学ポイントの付与等、連携先の大学とも協働してボランティアの取り込みを図る。提携大学以外でも区および近郊に住む学生で福祉、教育、保育、社会科学などを学んでいる学生にボランティアの輪を広げる。区内中高生の場合には進学内申書の評価項目に加えられるだろうか？

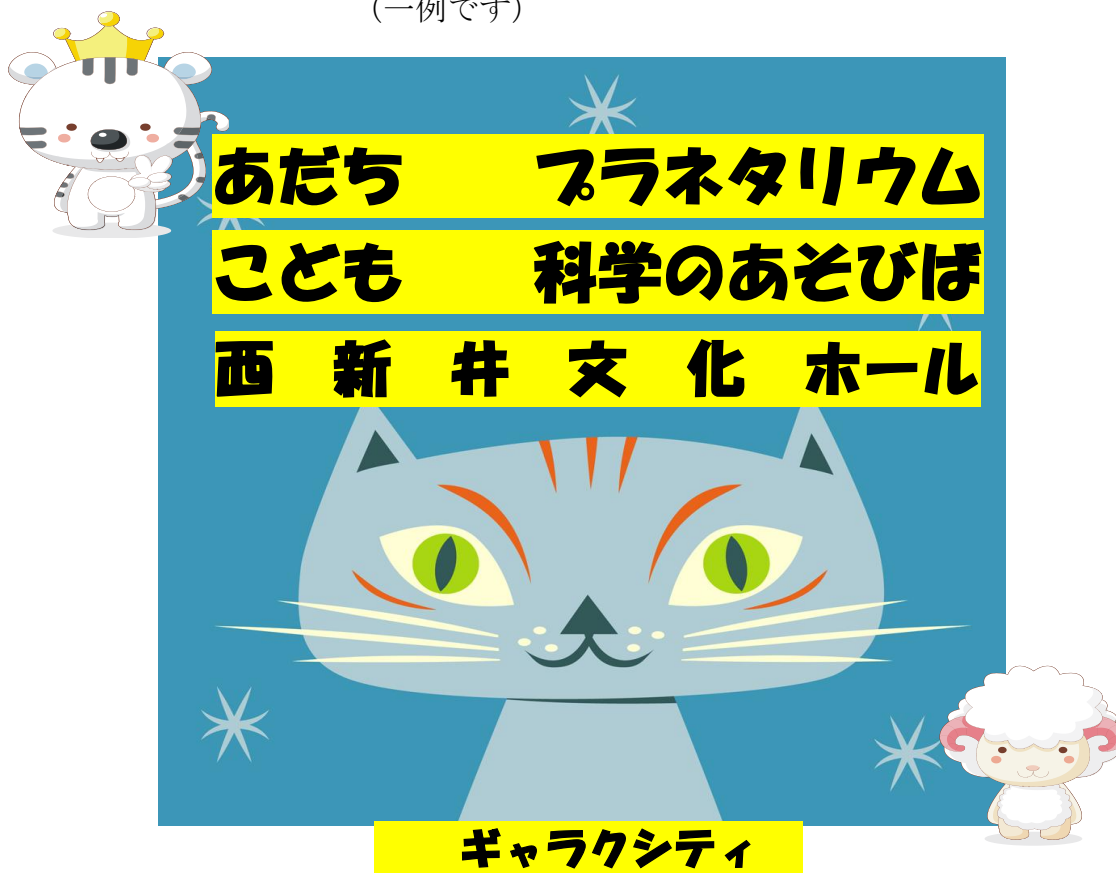
5. 受付等の接客応対について

来館者にとっては職員も、委託業者もボランティア、アルバイトであっても、同じ受付は受け付けである。言葉一つで、傷ついたり、反感を持つことも多い。まして子どもが多く集まる場所である。リニューアルされたギャラクシティではマニュアルに載ったり、だれもが気持ちよく対応が受けられるよう特に徹底して欲しい。親切丁寧な対応こそ、一番のリピーターに繋がる。区の施設も最近、対応がよくなってきているが、リニューアルを機会にさらに徹底して欲しい。

6. ギャラクシティの名称について

「ギャラクシティ」は足立区民には慣れ親しみ、知れ渡っている名称である。しかしギャラクシティで何をやっているのかが、わかりづらい。看板にはギャラクシティという言葉より「プラネタリウム・科学館・文化ホール」を強調して欲しい。例えば、下記のような看板にしてギャラポンのような可愛いキャラクターを作り、字の読めないキッズでもそのキャラクターを見てギャラクシティが楽しいものに感じ、行きたいと思わせる看板・チラシを作る。

(一例です)



添付資料

1. 2010/2/17朝日新聞切り抜き（別紙コピー）
2. 日本プラネタリウム協議会資料
3. 都内のプラネタリウム一覧
4. 「あ・たっち フェスタ 2010」の様様